

株式会社タムラ製作所

2006年3月期 中間決算概要

2005年11月15日



目次



1. 2006年3月期中間決算概要
2. 2006年3月期通期業績予想
3. 今後の事業戦略

1. 2006年3月期中間決算概要

ハイライト(要約損益計算書)



単位:百万円

	04上	05上	対前年同期比較	
			増減	率
売上高	38,031	38,118	87	0.2%
営業利益	1,581	1,797	216	13.7%
営業外損益	20	-60	-80	
経常利益	1,601	1,737	135	8.5%
特別損益	-384	-163	221	
税引前利益	1,217	1,574	356	29.3%
中間純利益	467	660	193	41.3%

■売上高は、競争の激化する市場における製品の低価格などもあり横這い

■プロダクトミックスの改善などによる原価低減や業務の効率化推進により、営業利益は増収

05上 期中平均実績為替レート : \$1=109円52銭

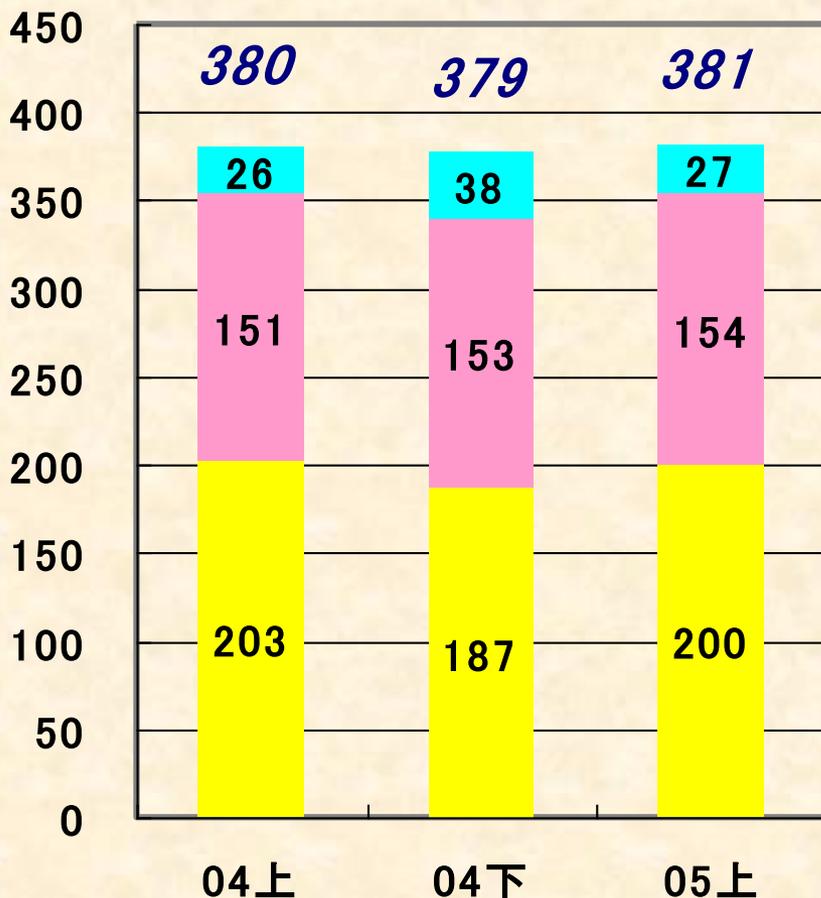
05上 期中平均社内為替レート : \$1=105円00銭

事業部門別の売上高・利益推移

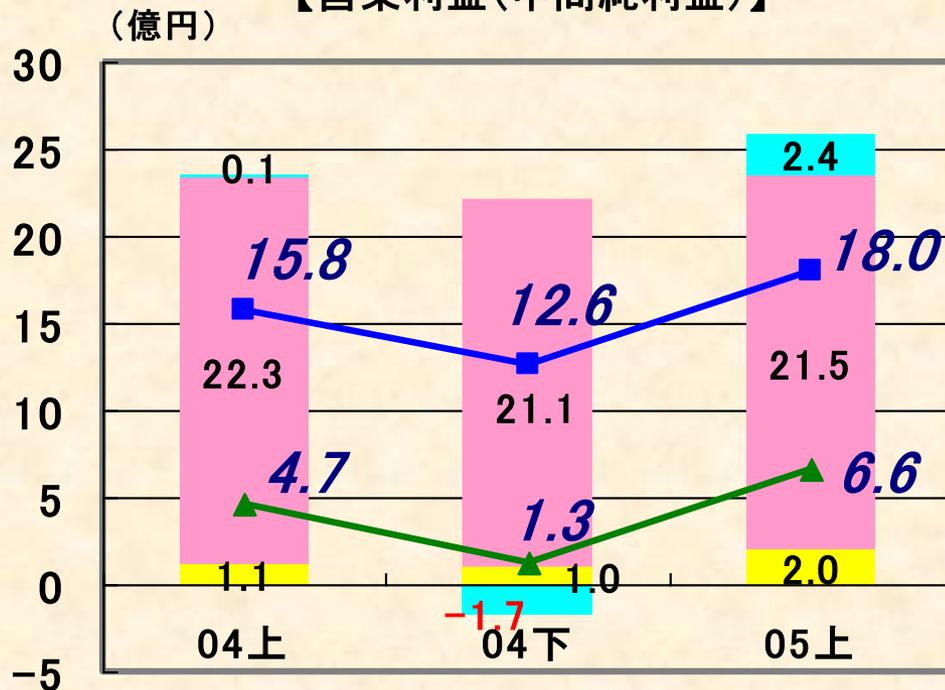


引き続き、電子化学材料・はんだ付装置事業は堅調に推移、
電子部品事業・情報機器事業の収益改善も貢献し、営業利益は大幅に改善

(億円) 【売上高】



(億円) 【営業利益(中間純利益)】



- 情報機器関連
- 電子化学材料・はんだ付装置関連
- 電子部品関連
- ▲ 中間純利益
- 営業利益

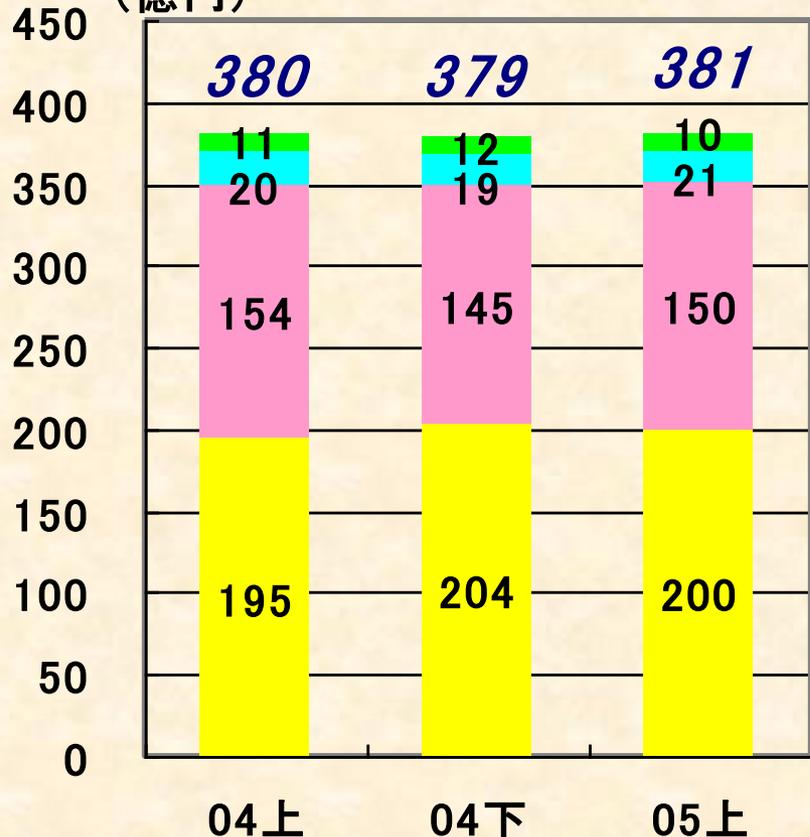
地域別の売上高・利益推移



アジアはやや低調に推移するものの
日本は大幅に収益改善、欧州も黒字転換

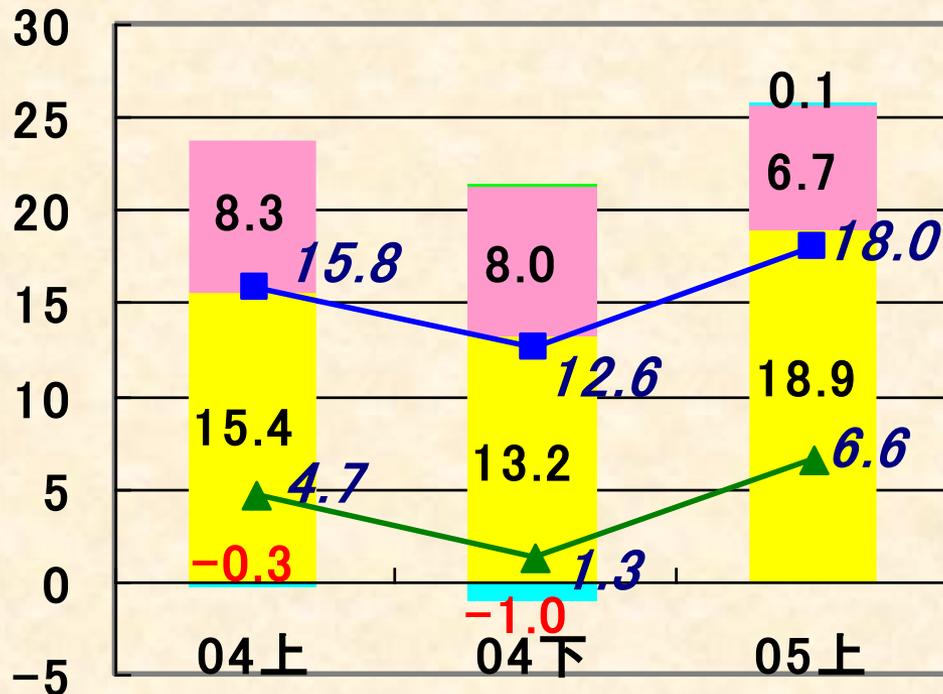
【売上高】

(億円)



【営業利益(中間純利益)】

(億円)

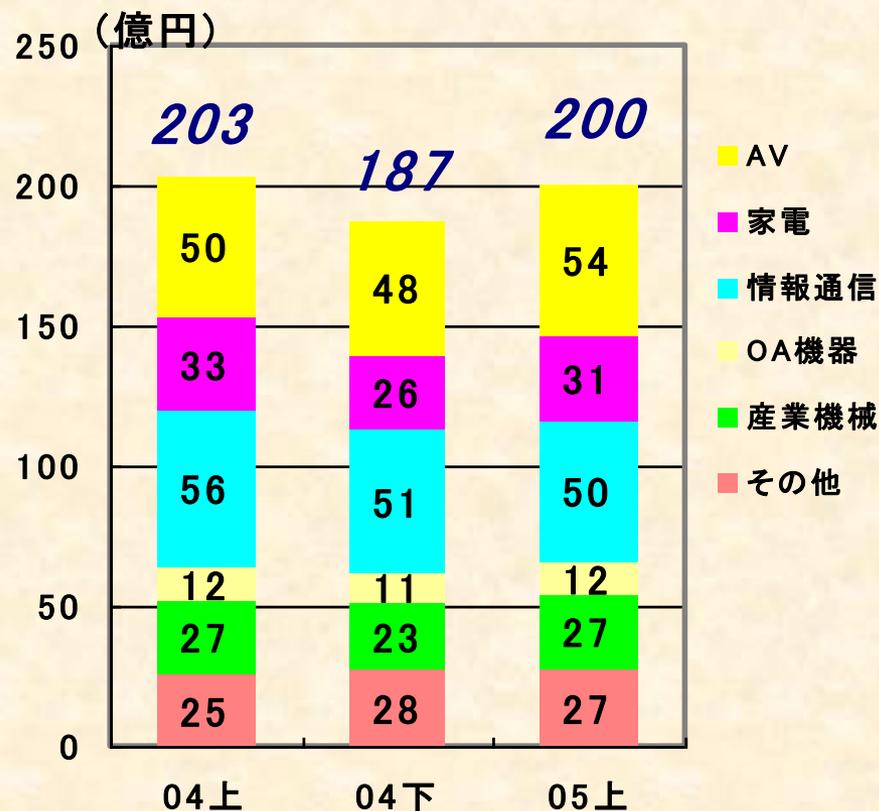
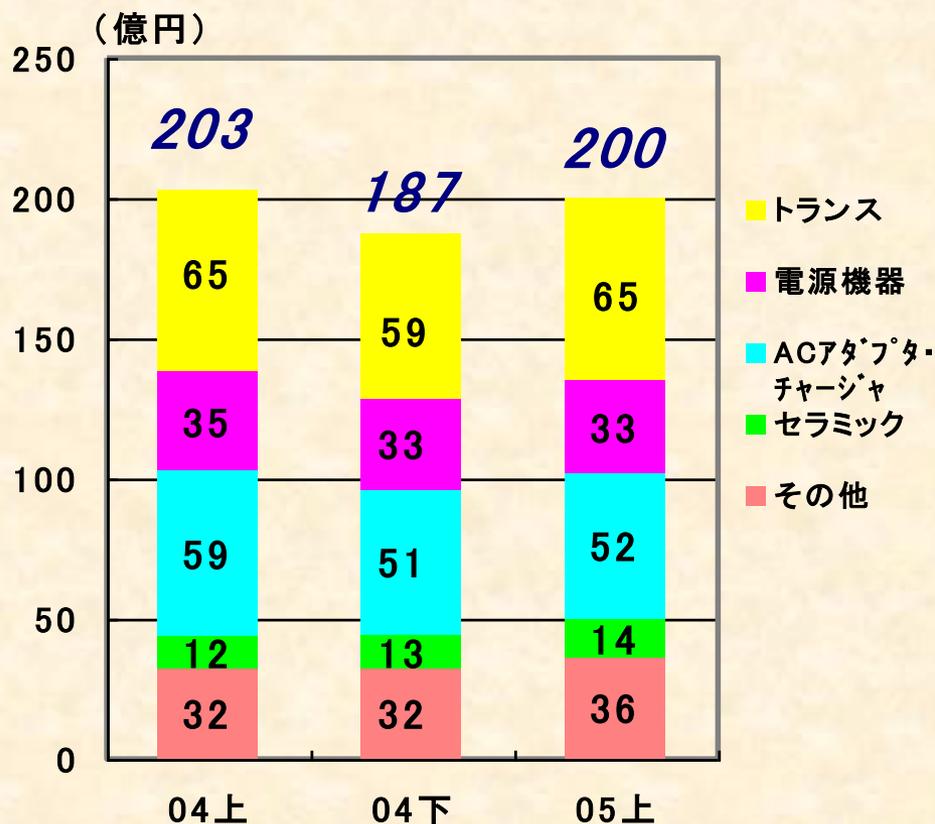


■ 日本 ■ アジア ■ ヨーロッパ
■ 南北アメリカ ■ 営業利益 ▲ 中間純利益

電子部品事業の売上高推移



NC・工作機械を中心に産業機器向け部品は堅調に推移、
また、液晶などの薄型テレビを中心としたデジタルAV機器向け部品は
競争激化による低価格化はあるものの好調に推移

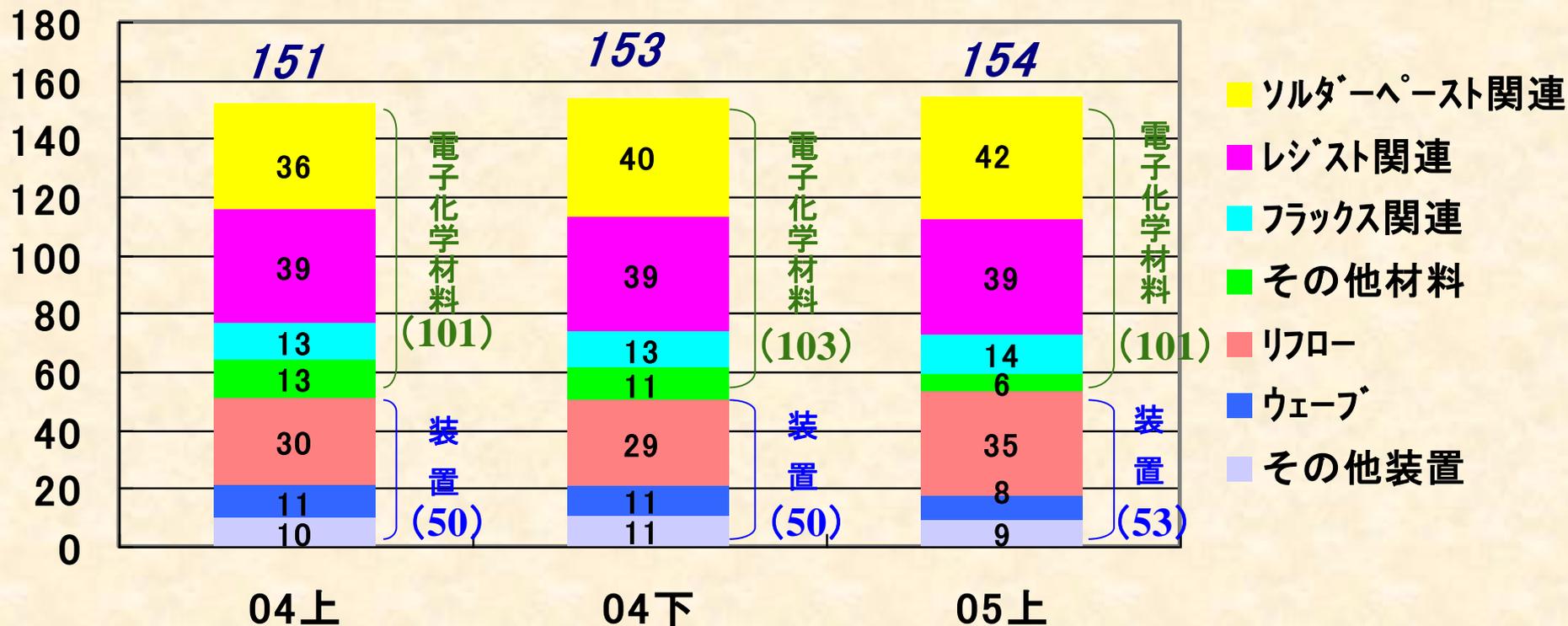


電子化学材料・はんだ付装置事業 の売上高推移



はんだ付装置は、海外展開も進み、リフロー装置を中心に好調に推移、
また、電子化学材料においても鉛フリー化の進展による競争の激化は
あるものの半導体向け材料が好調に推移し堅調

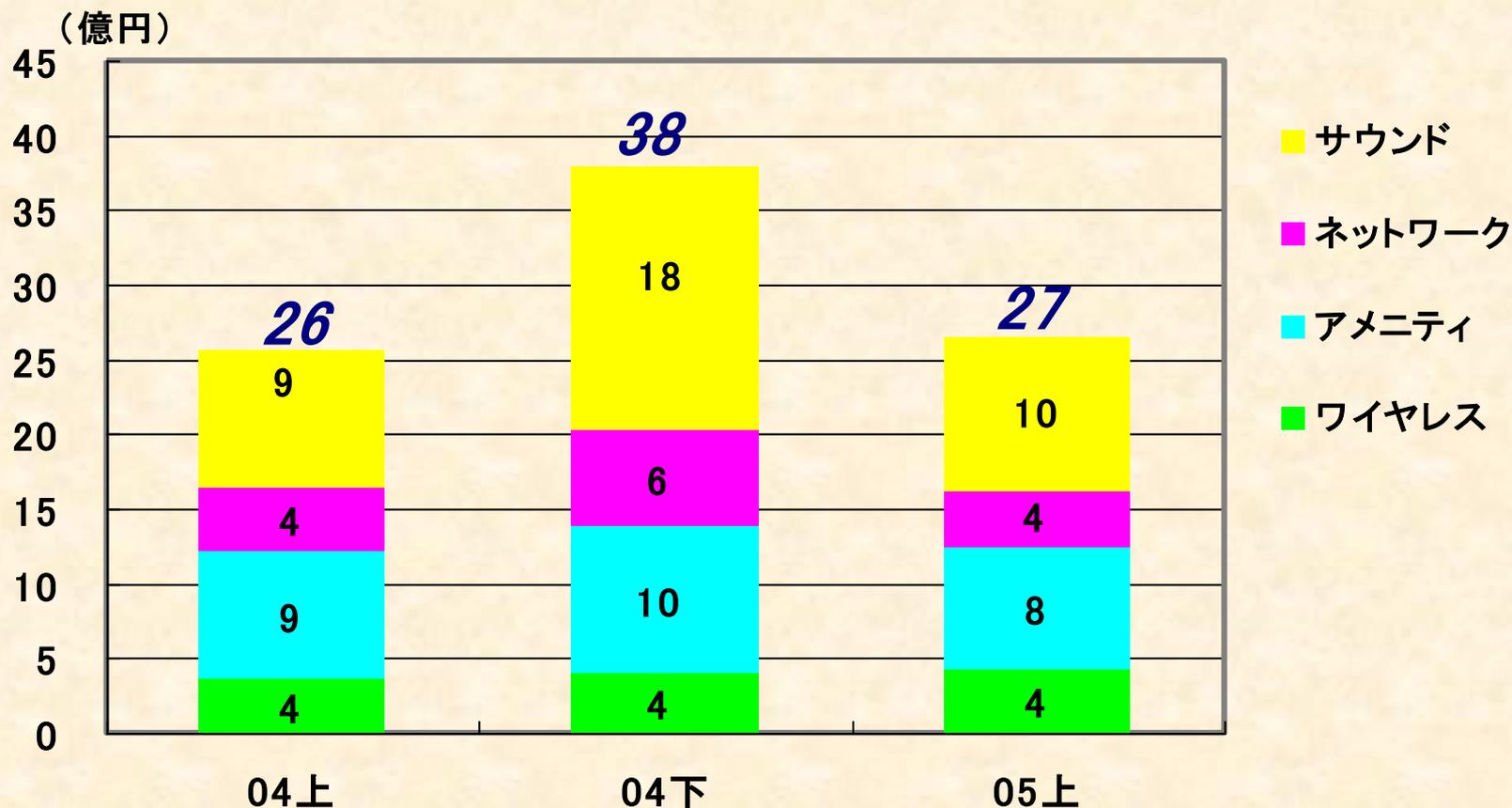
(億円)



情報機器事業の売上高推移



放送関連設備における地方局のデジタル化の動きも徐々に進展、
また、放送局・ホール向けなどの各種のワイヤレス製品も好調に推移し堅調



要約貸借対照表



総資産を圧縮、健全化を推進

単位:百万円

	04上	04下	05上	対前年同期 増減
流動資産	50,937	50,119	52,197	1,260
（現預金）	9,400	9,466	11,236	1,836
（売上債権）	26,118	26,913	25,671	-447
（棚卸資産）	12,981	11,858	13,246	265
固定資産	28,005	26,295	25,781	-2,224
（有形固定資産）	16,642	15,963	17,247	605
（無形固定資産）	1,941	998	1,027	-914
（投資、その他）	9,420	9,333	7,507	-1,913
資産合計	78,942	76,414	77,979	-963
流動負債	25,491	27,563	29,134	3,643
（仕入債務）	12,005	12,051	12,757	752
固定負債	14,443	9,816	9,182	-5,261
（有利子負債）	20,295	18,417	18,917	-1,378
負債計	39,935	37,379	38,316	-1,619
資本計	38,850	38,912	39,510	660
負債・少数株主持分・資本計	78,942	76,414	77,979	-963

- 資産流動化を推進
 - ・手形債権流動化 24億円
 - ・ソフトウェアのリース化 12億円
- 有利子負債削減 14億円圧縮

要約キャッシュフロー



フリーキャッシュフロー増加で借入返済し、
将来の投資拡大路線へ

単位：百万円

	04上	05上	増減	コメント
営業活動による キャッシュフロー	-1,002	2,030	3,032	営業CFを大幅に黒字化
投資活動による キャッシュフロー	-2,396	-70	2,326	関係会社の連結化14億円 一般株式の売却 9億円
フリーキャッシュフロー	-3,398	1,960	5,358	将来の事業拡大資金
財務活動による キャッシュフロー	789	-255	-1,044	FCF増加分を借入返済・記念配当実施
キャッシュの増減	-2,569	1,696	4,265	
キャッシュの残高	9,213	11,063	1,850	手持ち現金、19億円増

2. 2006年3月期通期業績予想

ハイライト(損益見通し)



更なる構造改革の推進による大幅増益を目指す

	05/3	06/3 予想	対前期比較	
			増減	率
売上高	75,971	78,000	2,029	2.7%
営業利益	2,839	3,800	961	33.8%
経常利益	2,608	3,200	592	22.7%
当期純利益	601	1,000	399	66.4%

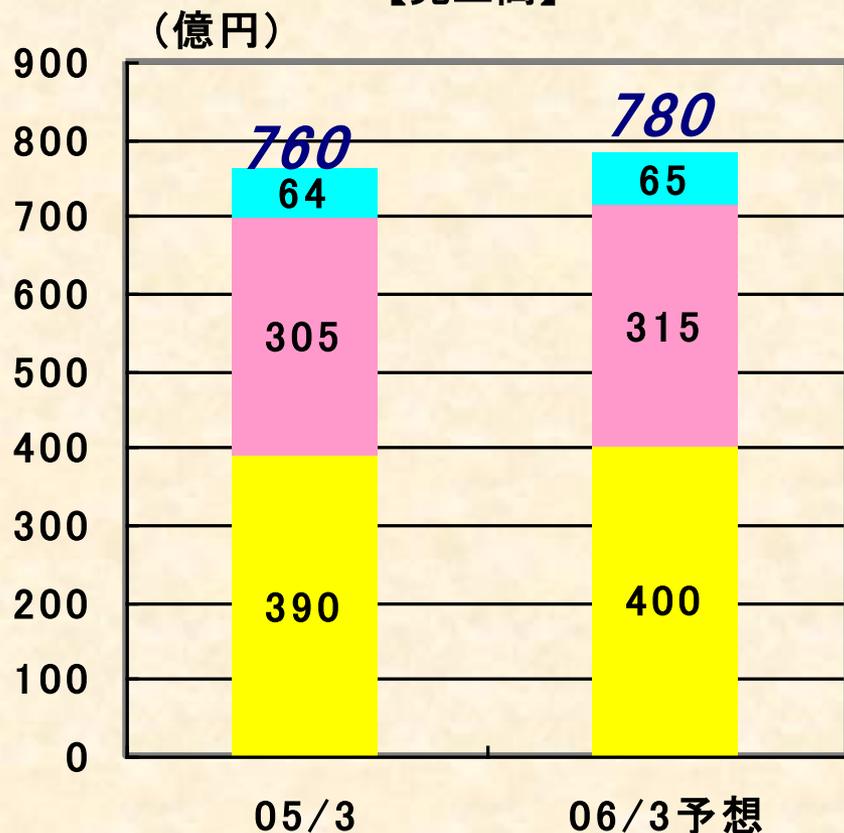
05下期 計画為替レート : \$1=110円

事業部門別の売上高・利益の見通し

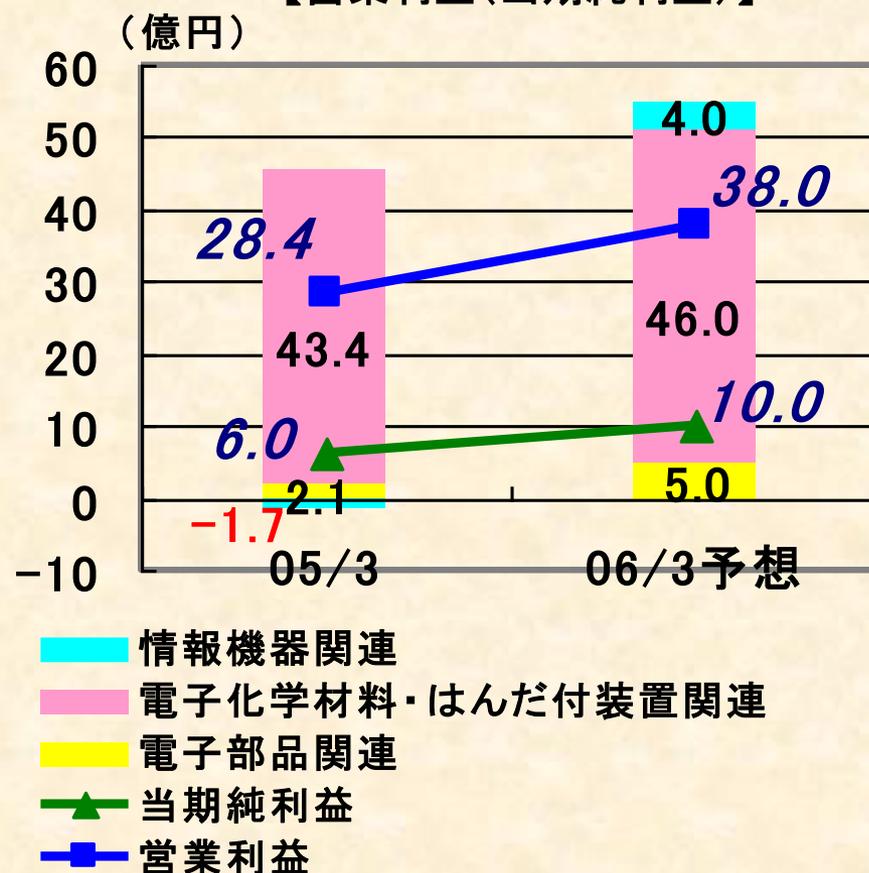


引き続き、電子化学材料・はんだ付事業が利益を牽引
情報機器事業は黒字化

【売上高】



【営業利益(当期純利益)】



- 情報機器関連
- 電子化学材料・はんだ付装置関連
- 電子部品関連
- ▲ 当期純利益
- 営業利益

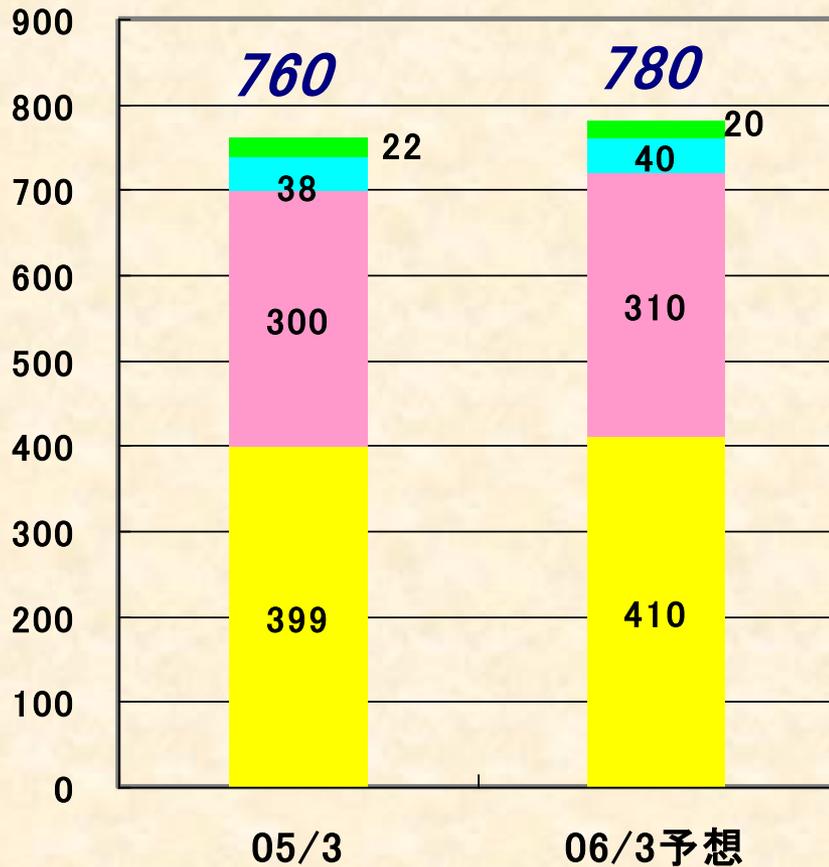
地域別の売上高・利益の見通し



引き続き、アジアは堅調、日本は大幅な収益改善

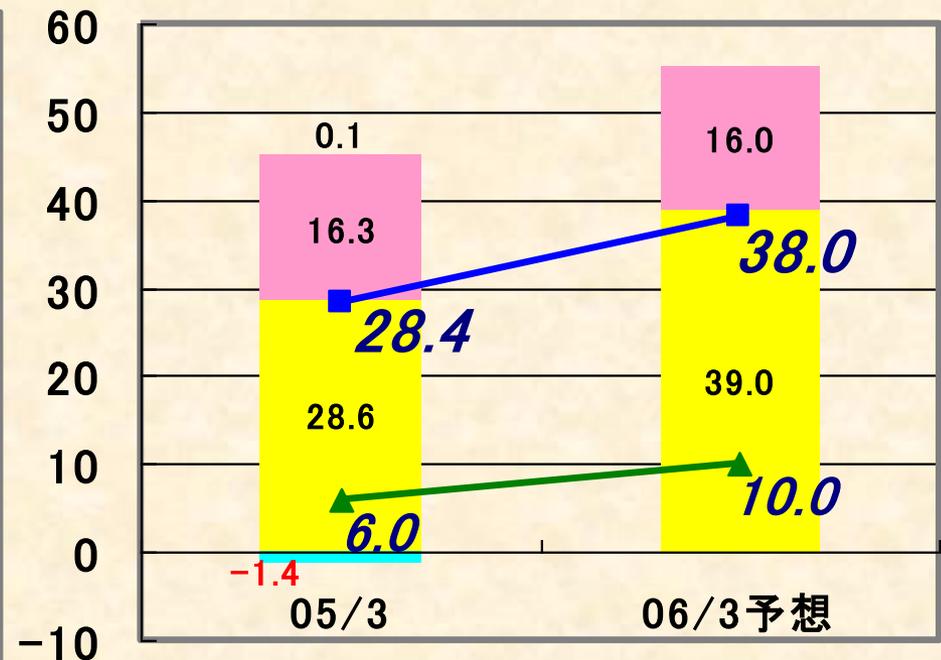
【売上高】

(億円)



【営業利益(当期純利益)】

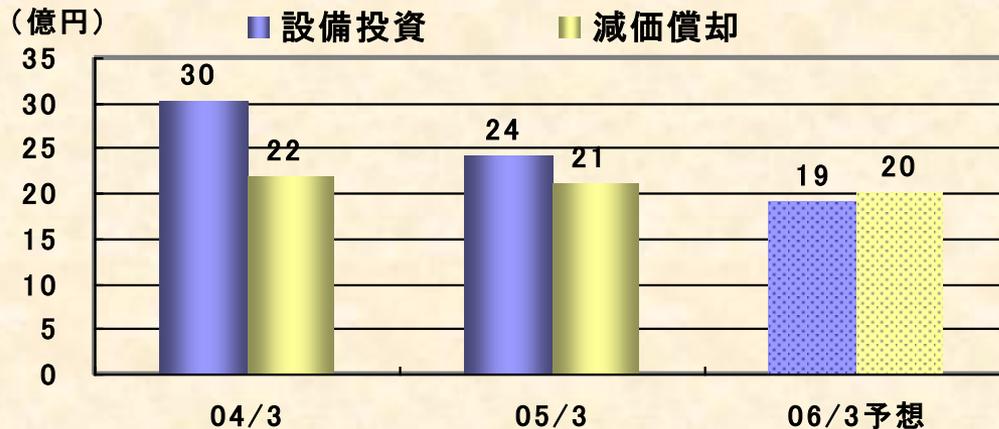
(億円)



- 日本
- アジア
- ヨーロッパ
- 南北アメリカ
- 営業利益
- 当期純利益

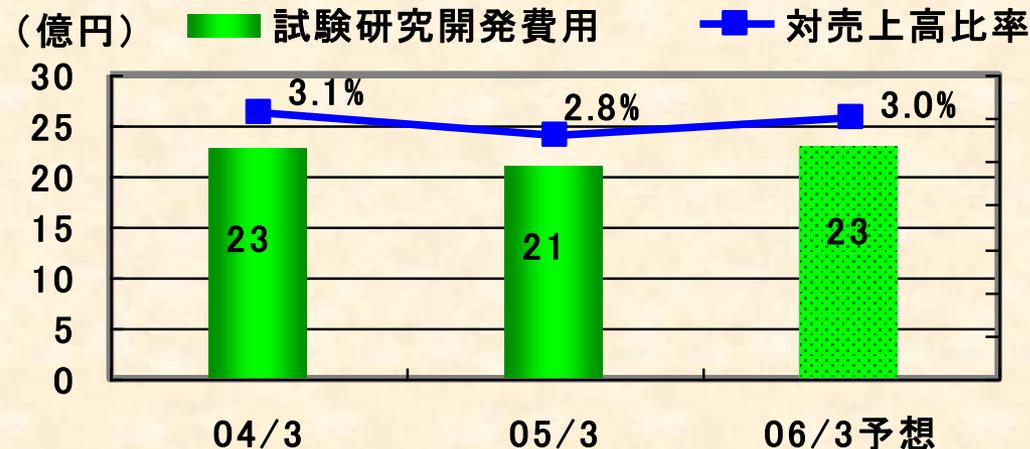
設備・研究開発投資の状況

■ 設備投資・減価償却費



- ・設備投資は、ERPへの大口投資終了で減少。
- ・減価償却は概ね予定通りに推移

■ 研究開発関連費用



・選択と集中による開発の効率推進

- 3.5% 地方局展開向けデジタル音声機器
- 3.0% 通信事業者向け監視装置
- 2.5% 磁性材料の新素材開発
- 2.0% セラミック事業の新市場向け材料、製品
- 1.5% 車載向け電子部品
- 1.0% 鉛フリーをはじめとする各種の環境対応材料・装置の開発
- 0.5%
- 0.0% 半導体市場向け実装装置

3. 今後の事業戦略

非連続発想による経営推進



Only One

「非連続発想」で

既存事業競争力の強化
新規事業の創出

真のグローバル企業へ

従来とは違う手法による構造改革

- ◆ バランス・スコアカード経営手法の浸透による
バランス経営の実現
- ◆ 執行役員制度導入による責任の明確化
- ◆ MAPS(タムラERPシステム)の有効活用による
スピード経営と効率化の実現
- ◆ 事業セグメントを横断する改革・プロジェクト
の実施やプロダクトミックスの促進
- ◆ 新規市場への積極展開 など

実現

加速

目標よりも常に一步上を
中期計画“Ambitious 11”

新ERPシステム (MAPS) の グローバル導入完了、稼働開始



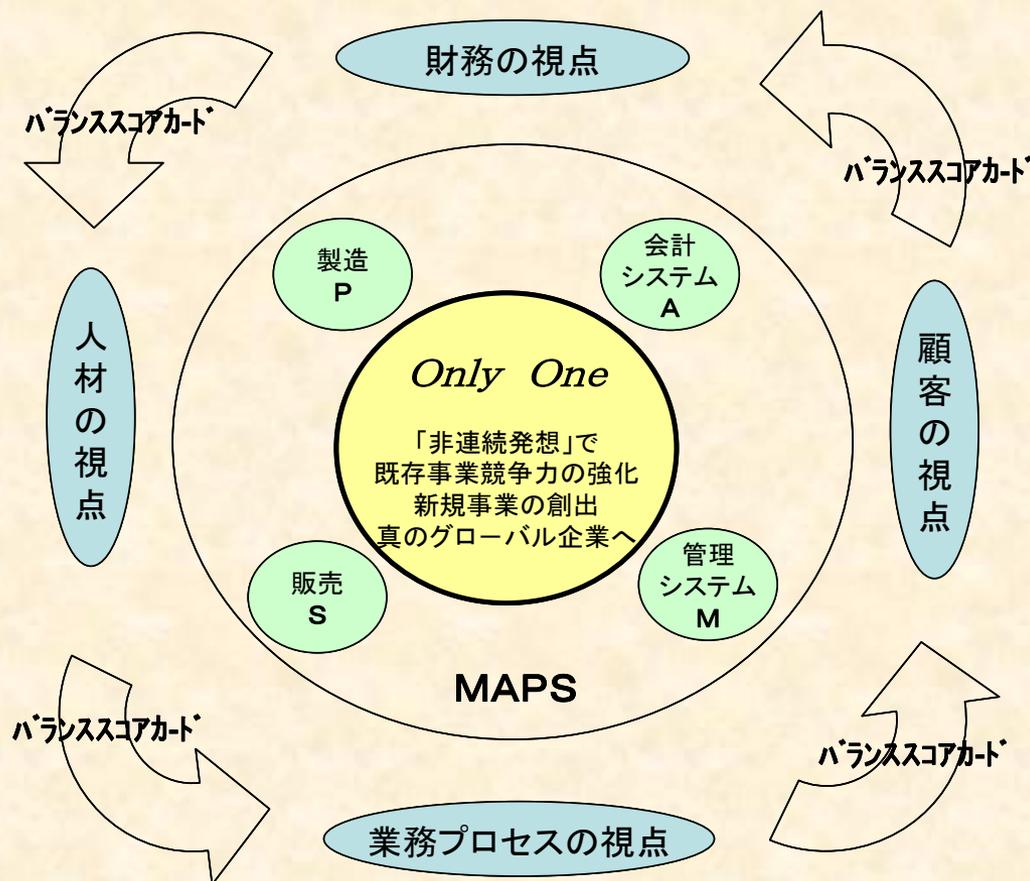
導入による期待効果

部品調達コストの削減

在庫削減による
キャッシュフローの改善

グローバルSCM推進による
リードタイムの短縮、業務の効率化

リアルタイムな製品別原価管理の
実現によるスピード経営の実現

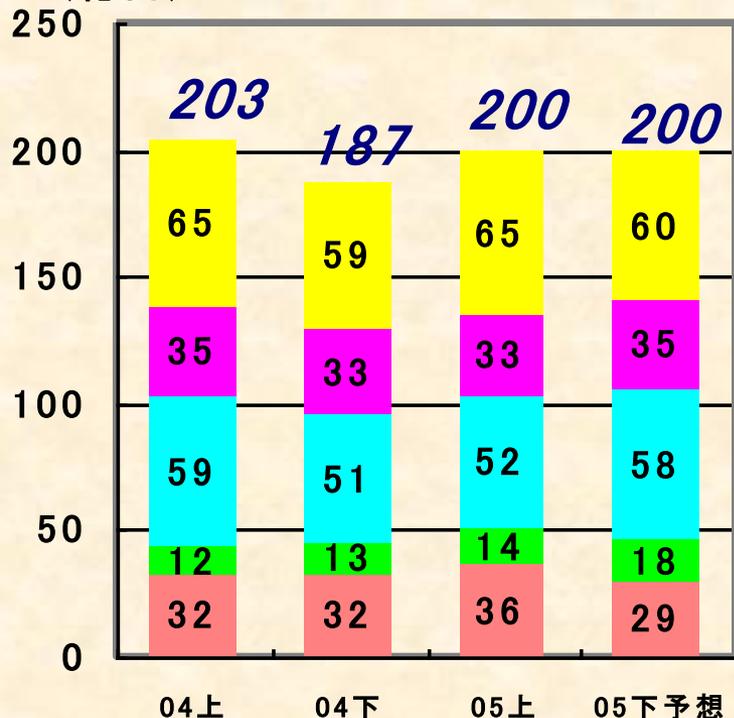


電子部品事業

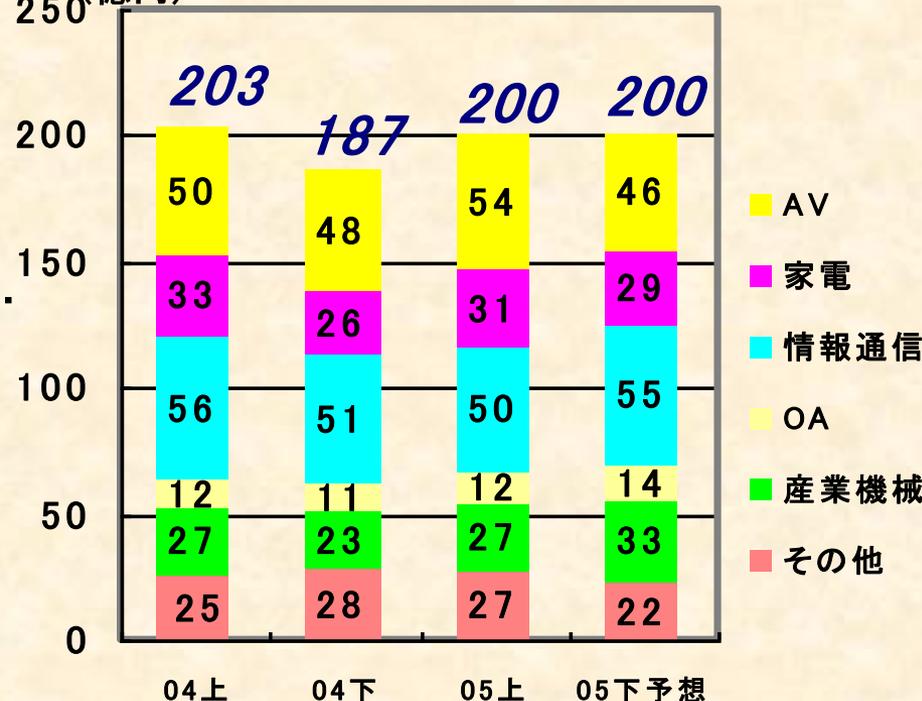


- MAPS活用による連結原価マネジメントの強化と
プロダクトミックスの改善による収益性の向上
- 他社とのアライアンスも意識した新規事業展開による戦略事業強化

(億円)



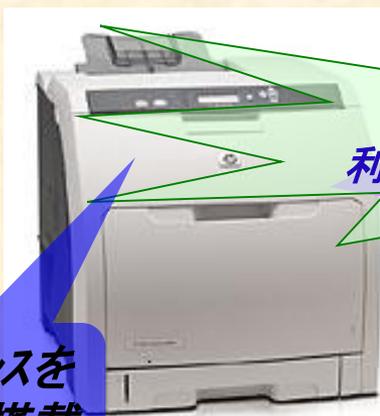
(億円)



電子部品事業 - トピックス -



- ・デジタルカメラ用SWアダプタ 大手メインモデルへの採用決定による急伸
- ・圧電トランス搭載カラーレーザープリンタが今秋に発売開始
今後の増産、水平展開に期待



小型・薄型、高効率、安全性、
利便性等でユーザーニーズに一致

圧電トランスを
16個/台搭載

他機種・
他社モデルへ

水平展開

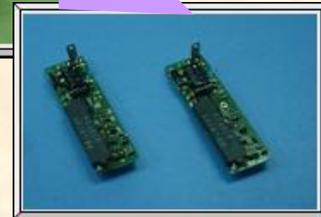


プリンタ用圧電トランス

回路技術による
ユニット展開



高圧モジュール



高圧電源

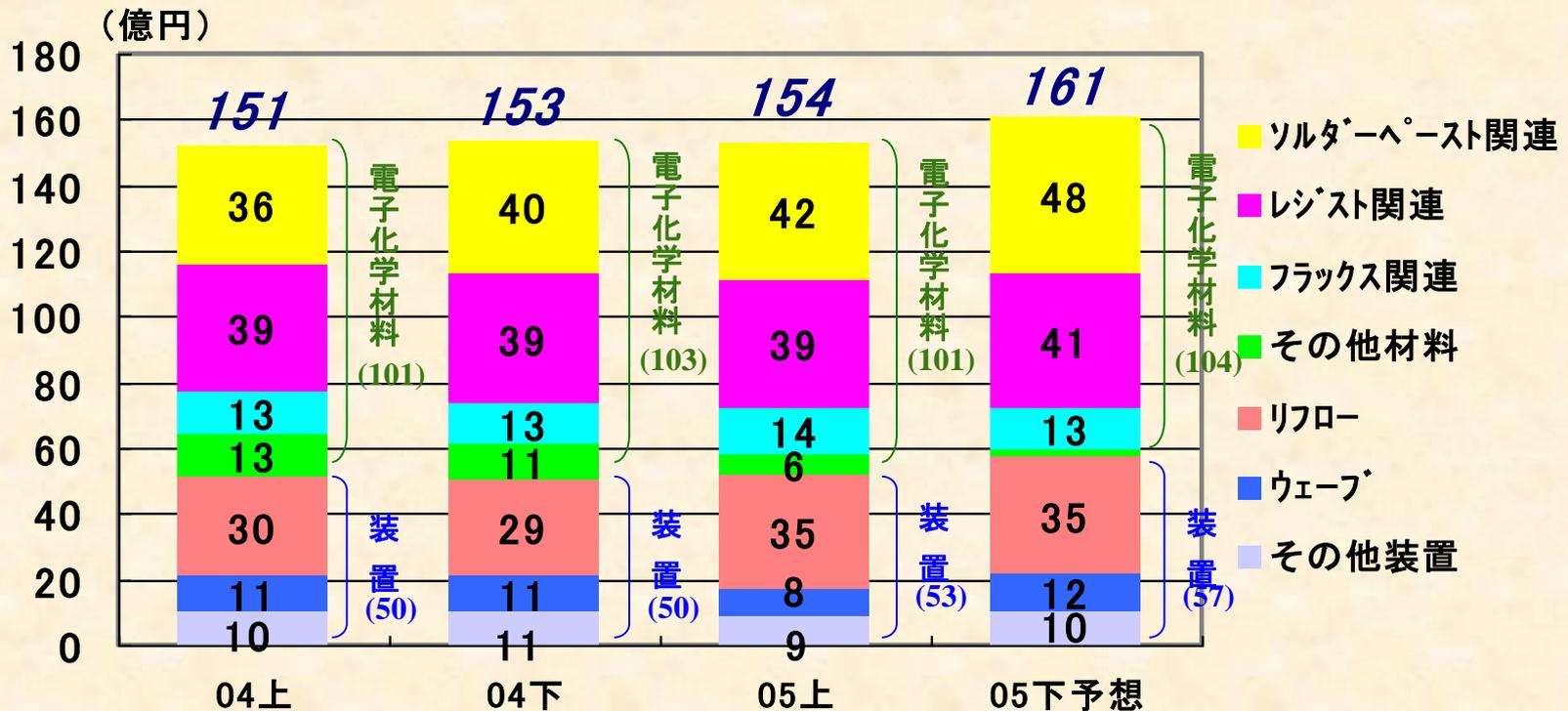
- ・車載市場への参入に向け、
営業・開発・生産体制を強化推進



車載向け電子部品

電子化学材料・はんだ付装置事業 TAMURA

- 進展する「鉛フリー市場」での必勝に向け、新製品投入・
営業力強化による市場でのシェア確保
- 材料～実装技術のトータル・ソリューションを生かした技術革新の促進
- はんだ付装置事業における海外営業強化によるグローバル拡販



電子化学材料・

はんだ付装置事業 - トピックス -



・組み込みOS採用によるHDDLレスタイプはんだ付装置の市場投入により、更なる拡販・グローバル展開を実現

業界初

新型フルチャンバー式
ウェーブソルダリングシステム
「TNW33-36EF」



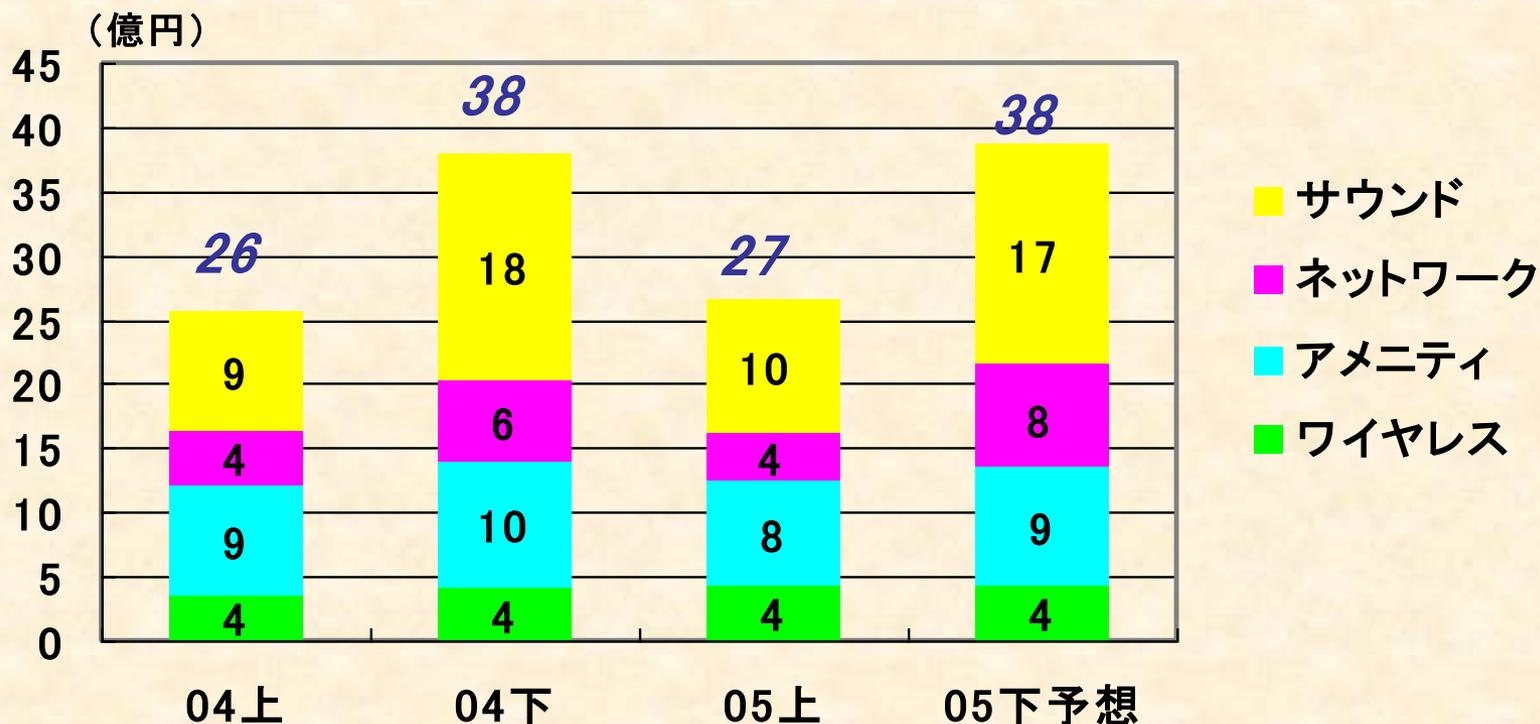
・小型、省スペース対応
・HDDLレスタイプによる信頼性の向上を実現

今後、主力のリフロー装置においてもHDDLレス仕様製品の投入を予定

- ・鉛フリー化の進展へ向け、更なる機能向上を図った鉛フリー材料を市場投入し、大手メーカーを中心に拡販展開を実施
- ・プリント配線基板の脱ハロゲン・脱リン化を実現するレジスト材料をNEC殿と共同開発に成功
⇒ プリント配線基板材料における環境対応製品化へ展開図る

情報機器事業

- 更なる事業構造改革による収益の改善と事業基盤の見直し
- 戦略製品 (AMQ5500) による地上デジタル放送の地方局展開
- 次世代監視システムの導入によるネットワークインフラ事業の拡販



情報機器事業 - トピックス -



- 定評ある鉄道用ワイヤレスマイクロホンシステムが、愛・地球博会場への主要交通手段となった「愛知環状鉄道(株)殿」全駅に、また今夏開業した「首都圏新都市鉄道(株)殿(つくばエクスプレス)」の全駅に採用され運用開始

- 地上デジタル放送の地方局向けに開発した戦略製品AMQ5500は、ラジオ局、FM局及び中継車にも採用されるなど、計画以上の受注を獲得しており、今後もより一層の拡販を図る。
また、キー局更新需要に向けた大型デジタル音声卓：AMQ7700[InterBEE2005(11/16～18 幕張メッセ)にて発表予定]の先行受注獲得も目指す。





Ambitious

Tamura's Only One

TAMURA

The End